

## 看護師国家試験における母国語・英語での試験と コミュニケーション能力試験の併用の適否に関する検討会

### 開催要綱

#### 1. 趣旨

経済連携協定（EPA）に基づく外国人看護師候補者の受入れに関しては、看護師候補者の日本語能力の不足等に伴い、現場でのコミュニケーションの問題も見られるとともに、国家試験の合格者数が少数に留まっているところ。

一方、「成長戦略工程表」（平成22年6月18日閣議決定）においては、2011年度までに実施すべき事項として、「看護師・介護福祉士試験の在り方の見直し（コミュニケーション能力、母国語・英語での試験実施等の検討を含む。）」と記載されている。

そこで、平成23年2月に実施した第100回看護師国家試験においては、「看護師国家試験における用語に関する有識者検討チーム とりまとめ」（平成22年8月24日公表）を受け、試験の質を担保した上で、日本語を母国語としない看護師候補者にとってもわかりやすい文章となるよう問題を作成し、難解な漢字へのふりがな付記や疾病名への英語併記等の対応を図ったところ。（EPAに基づく外国人看護師候補者の国家試験合格者は、前年の3名から16名へ増加）

他方、「経済連携協定（EPA）に基づく看護師・介護福祉士候補者の受入れ等についての基本的な方針」（平成23年6月20日 人の移動に関する検討グループ）においても、母国語・英語での試験とコミュニケーション能力試験の併用等について、国家試験制度の趣旨や患者等への影響、実現可能性等も踏まえつつ、その適否について検討を行うとされていることから、「成長戦略工程表」も踏まえ、すでに行った国家試験における用語に関する検討とは別に、母国語・英語での試験とコミュニケーション能力試験の併用の適否について検討を行うものである。

#### 2. 構成員

別紙

#### 3. 検討課題

看護師国家試験における母国語・英語での試験とコミュニケーション能力試験の併用の適否

#### 4. スケジュール予定

第1回を平成23年12月に開催、以降3回程度開催し、来年3月にとりまとめ（予定）

#### 5. その他

厚生労働省医政局長の検討会とする。

本検討会の庶務は、厚生労働省医政局看護課で行う。

議事は公開とする。

(別紙)

看護師国家試験における母国語・英語での試験と  
コミュニケーション能力試験の併用の適否に関する検討会

構成員

尾形 裕也	九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座教授
小川 忍	日本看護協会常任理事
奥島 美夏	天理大学国際学部地域文化学科准教授
加納 繁照	日本医療法人協会副会長
木村 福成	慶應義塾大学経済学部教授
熊谷 雅美	済生会横浜市東部病院副院長・看護部長
讃井 暢子	日本経済団体連合会常務理事
戸塚 規子	京都橘大学看護学部教授
中山 洋子	福島県立医科大学看護学部教授
花井 圭子	日本労働組合総連合会総合政策局長
藤川 謙二	日本医師会常任理事
山崎 學	日本精神科病院協会会長
林正 健二	山梨県立大学看護学部教授
渡辺 俊介	国際医療福祉大学大学院教授

敬称略（五十音順）

## スケジュール（案）

第1回 平成23年12月 9日（金）

経済連携協定（EPA）に基づく外国人看護師候補者の看護師国家試験受験の現状について  
関係団体からのヒアリングについて

第2回 平成23年12月16日（金）

関係団体からのヒアリング  
厚生労働省ホームページ等を通じた意見募集案について

～この間、厚生労働省ホームページ等を通じた意見募集を実施予定～

第3回 平成24年 2月

意見募集の結果報告  
とりまとめ案の検討

第4回 平成24年 3月

検討結果とりまとめ